

交通誘導員の 交通誘導 安全ポイント



一般社団法人 日本建設業連合会
公衆災害対策委員会 交通対策部会
建設三団体安全対策協議会

PART 1

作業開始前の確認



- 誘導員としてふさわしい服装をしよう
- 朝礼や安全作業打ち合わせに参加しよう
- 安全指示事項を確認しよう
- 周辺の道路状況をしっかり把握しよう
- 交通誘導に専念しよう
- 指定路線では検定合格警備員が配置されているか確認しよう

PART 2

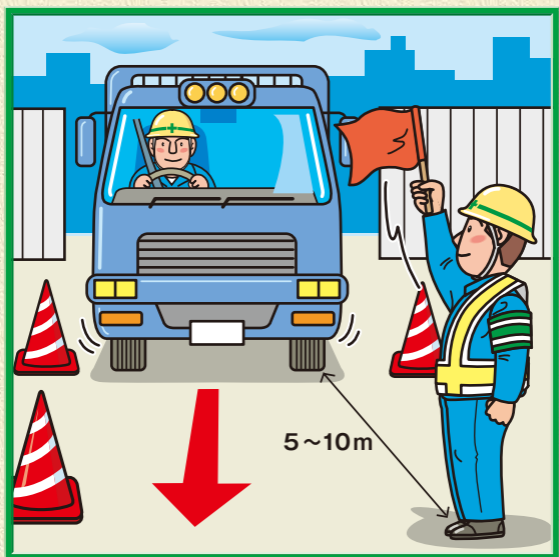
昼夜どこからでも 見分けられる服装で



- 夜間に対応できる服装・腕章を着装しよう
- 夜光性の保護帽、トラチョッキを着用しよう
- 手旗(赤・白)、笛、赤色合図灯を有効に使おう

PART 3

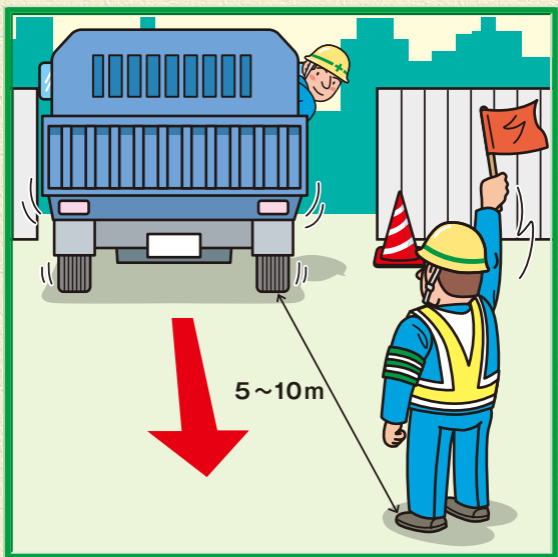
運転者から見やすい位置・ 安全な距離、死角に入らない



- 誘導員は車両の進行方向の前面に出ないようにしよう
- 誘導中は車両と運転者の動向から目を離さないようにしよう
- 危険を感じたら、直ちに停止させよう
- 誘導する車両の死角に入らないようにしよう
- 誘導員は運転者と合図の確認をしよう

PART 4

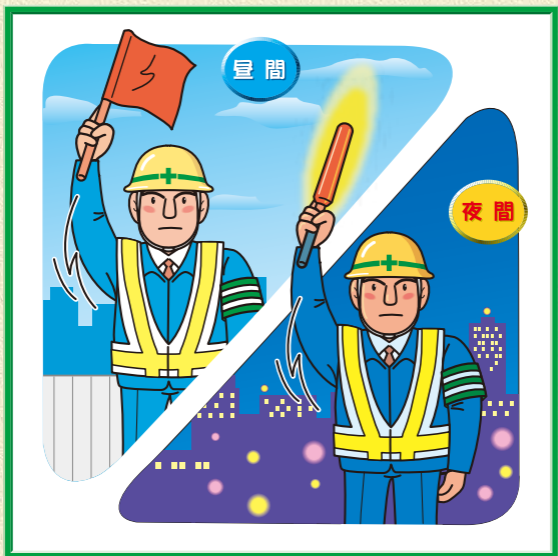
後退の場合は、 運転者と同じ側で



- 「誘導なしではバックをしない」を合言葉にしよう
- 運転者の視野の中で確実な誘導をしよう
- 運転者から見えないときは笛を吹こう
- 後進車両の右左折時は、事前に運転者と打ち合わせをしよう

PART 5

合図は大きい動作で
はっきりとわかりやすい速さで



- 昼間…手旗による合図(赤色及び白色)をしよう
- 夜間…照度の十分な赤色合図灯を活用しよう
- 体の向きや動きは常に正しい要領で行おう
- 警笛は、正しい要領で使用しよう
- 停止をさせた車両には、発進時まで合図を継続しよう

PART 6

歩行者の安全を第一に



- 車両をとめて歩行者優先に努めよう
- 歩行者への言葉遣いは丁寧にしよう
- 交代は交代者が来てからにしよう
- 騒音が激しいときはハンドマイクを使おう
- 歩行者通路の段差に注意し誘導しよう
- 案内板の設置を確認しよう

PART 7

道路での誘導は 作業帯の中で



- 規制帯の外に出て一般車両を止めることはやめよう
- 誘導は容易に退避できる場所を確保してから行おう
- 周辺の一般車両にも油断をしないようにしよう
- 誘導は運転者から良く見える位置で行おう

PART 8

交通事故が発生した ときの緊急措置



- 手旗、ハンドマイク等を積極的に使用し、事故発生を他の通行車両に知らせよう
- 事故車両の運転者に協力し、停止表示器材を活用して二重事故を防止しよう
- 負傷者の救護と救急車の手配を確実にしよう
- 現場責任者に速報し指示を受けよう

交通誘導員 安全ポイント10訓

- 1 事故の当事者にならないようにしよう
- 2 誘導技術向上の努力をしよう
- 3 いつもよい体調で誘導につこう
- 4 装備資器材を確実に活用しよう
- 5 安全な場所を確保して誘導しよう
- 6 合図は大きく相手によくわかるようにしよう
- 7 誘導は余裕を持って急停車を避けよう
- 8 車道への急な飛び出しは絶対にやめよう
- 9 誘導車両の死角に入らないように注意しよう
- 10 やさしく、丁寧に、はっきりした言葉遣いをしよう

氏 名	
会 社 名	
緊急連絡先	()